



新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和5年5月16日

第3号

☎ 0254-22-3824

📠 0254-26-3543

同部のテーマは「**凡事徹底**」当たり前のことを当たり前に行うこと。時間を守る、清掃をきちんとする、授業に集中する、挨拶は自分から等

「無限なる挑戦」～心を込めて～

校長 森谷 優子



5月11日（木）、開志国際高等学校バスケットボール部総監督富樫英樹先生をお招きし、キャリア教育講演会を実施しました。

富樫先生は、新発田市立本丸中学校男子バスケットボール部を2度日本一へ導き（全中3位は3度）、元U-16日本代表のヘッドコーチも務められました。その後、2014年に開校した開志国際高校のバスケットボールの監督に就任し、わずか3年でインターハイ出場、ベスト8に押し上げ、創部5年目には、全国制覇を成し遂げます。昨年度は、夏のインターハイで準優勝、そして、まだ記憶に新しい冬のウィンターカップでは、同部を、見事、新潟県勢初の優勝に導きました。言わずと知れたTokyo 2020オリンピック日本代表PG・富樫勇樹選手（千葉ジェッツ）にバスケットボールの基礎を教えたお父様です。

<富樫先生からのメッセージ①>

目標や夢をもつことの大切さ、継続すること(諦めないこと)の大切さ

自分が中学生の時の目標は、下越大会出場だった。だから、下越大会に出たことに満足し、1回戦で敗退した。例えば、歩いて新発田のサンビレッジまで行くのと富士山まで歩いて行くのでは、**する準備が違う**。だから、まずは、目標設定が大切である。「**思う**」って大事！「**思い続ける**」っていうことが大事だ！！

目標を決めたら、いつからやる？明日からやる、来週からやるという人は失敗する人。活躍する人は「今」やる。思い立ったら、今。いつやるの？「**今でしょ！**」実は、このセリフ、流行る前から、ずっと（先に）使っています。

評価するのは他人、努力するのは自分である。

息子が、アメリカに行っていた時、指導者に言われたことをブログに書いていたことがある。

印象に残っているのが、

「**人生はリセットできないけれど、いつでもスタートできる**」という言葉。私自身も、人と過去は変えられないけれど、自分と未来は変えられる。また、言い訳しない、人のせいにならない、人の悪口を言わない、ということ、日頃から、自分で自分に言い聞かせている。



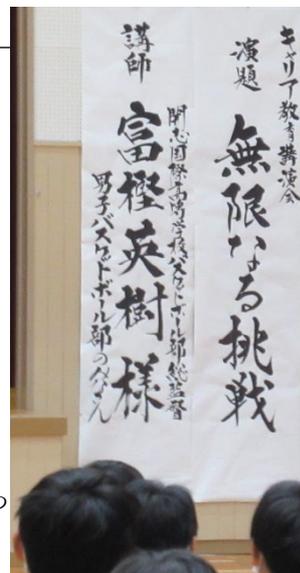
<富樫先生からのメッセージ②>

オフボール(試合でボールをもっていない時)が大事

バスケットボールの試合では、ボールを持っている時は大事だけれど、それ以上に大事なのがボールをもっていない時の動きだ。考えてみると、バスケットボールをしていない時、学校生活や家庭での生活など、つまり、**日常生活は、すべて OFF ボールであると言える。**

例えば、掃除。私は、**掃除ができて一流、人が見ていなくても落ちているごみを拾って超一流**だと考えている。また、家族や学校の人たちに、「ありがとう」「ごめんなさい」が言えているだろうか。「おはよう」

「おやすみ」「ただいま」「おかえり」などを、身近な人にしっかりと伝えられているだろうか。このようにオフボールである日常生活を全力でやるのが、いざボールをもった時に、生きてくる。**「すべての試合に勝つことはできないが、すべての試合から学ぶことはできる」** 学ぶことができるのは、人の話を「よく」聴くことができる人。伸びる人は、素直な心をもっている。



富樫先生のお話から、バスケットボールをとおして、教育の原点である人格の完成をめざし、「人づくり」をされて来られたことを痛感しました。

終了後の生徒の振り返りには、「今すぐやる」「目標を高くもつ」「無理と決めつけずに挑戦する」「人が見ていなくても、誰かの役に立つ」「清掃、あいさつ、時間など、当たり前のことをきちんとやる」「ごみを拾う」「諦めない」「自信をもつ」「嫌なこと、面倒なこともやる」「人にやさしくする」「夢を全力で追いかける」「人に気を配る」「継続してやり続ける」「部活だけでなく勉強をがんばる」「人の悪口を言わない」「指示されなくても動けるようになる」・・・など、多くのメッセージを受け取った様子が伝わってきました。



同行された開志国際高校 津野祐樹先生

当日は、講演のほかに、男子バスケットボール部のみなさんによるバスケットボールの実演、DVDの視聴、中学生と高校生との交流会（フリースロー対決、ミニゲーム）を行いました。



交流会は、生徒会の企画で、全校から、ミニゲームに出たい生徒を募集し、女子チーム、中1男子チーム、中2男子チーム、中3男子チームの4チーム各5人が、それぞれ、高校生の3人チームに挑みました。本当に楽しい企画で、盛り上げ上手、乗せ上手、雰囲気づくり上級者の高校生の華やかで温かい声援が体育館いっぱいに広がり、いつのまにか東中生も一緒に大きな声援を送っていました。たくさんの方を学ばせてもらった素敵な高校生にも感謝申し上げます。



最後の質問タイムが終わり、富樫先生と選手が退場し選手が控室で着替えをしている間、全校生徒が選手の控室から玄関にかけて、予定にない長い花道を作っていました。驚いたのは、4～5人の3年生が、花道を歩く富樫先生に向かって、「私は、～で～したいと思います！」「ぼくは、～へ進学して、～します！」など、自分の目標を大きな声で叫んでいたことです。先生は笑顔で応えていました。



開志国際の人たち全員でいい雰囲気を作ってくれて、いつもの昼休みのバスケより、めっちゃ楽しくゲームができました。全力でバスケに取り組んでいる姿、かっこよかったです。(3年)
富樫先生曰く、自分に自信があるから、かっこよく見えるのだと思うとのことでした。

遠人 #61
 秦龍 2019 #69
 佐藤 #8
 佐藤 #33
 心をこめた
 二コラス #6
 翔舟 #9
 翔舟 #12
 翔舟 #14
 翔舟 #15
 翔舟 #17
 翔舟 #35
 翔舟 #55
 開志国際高等学校 男子バスケットボール部

杉本 #13
 TKO #27
 心をこめた
 翔舟 #3
 翔舟 #4
 翔舟 #11
 翔舟 #14
 翔舟 #15
 翔舟 #17
 翔舟 #35
 翔舟 #55
 開志国際高等学校 男子バスケットボール部

高等学校という自分たちより上の学校の生徒だけ、自分たちと全然違って一つのことに集中して取り組んでいてすごいなと思いました。そして、自分一人のことに集中するのではなく、自分が試合に出ない時は、出ている選手を応援していたし、私たちの中学生チームが点を入れた時でさえも、歓声をあげてくださったので、チームメイトのことも大切にすると、相手選手のことでも讃えられるすばらしい選手たちなのだと思います。私たちがこのような姿を見習って生活していけば、東中がもっと明るく協力し合える中学校になるんじゃないかと思いました。(3年)



開志国際高校 富樫英樹先生、男子バスケットボール部のみなさんと一緒に